

議会だより

こた

第116号

2005年5月1日発行



2

避難所耐震化対策など
総額211億円余の予算審議など



6

下水道、中部第2負担区受益者負担金条例など

8

一般質問「高齢者給食サービスの充実」など6名が政策提起

16

「動物との暮らし」 わが町を思う

平成17年度

学 校
建設費

深溝小学校増築など

2億8,800万円

施策の重点課題

- ◎ 生活基盤の点検整備の継続
- ◎ 防災・安全対策
- ◎ 福祉・教育の充実
- ◎ 環境対策

3月定例会は、2月28日に招集され、3月28日までの29日間で開催されました。

町長から新年度予算の概要と施政方針「住みよいまち、住みたくなるまち幸田、将来の発展と安心の創造をめざして」が示されました。

17年度9会計の当初予算をはじめ、16年度補正予算、幸田町個人情報保護条例の制定など29件を審議しました。17年度予算審議は、予算特別委員会で2日間かけ集中審議し、すべて可決しました。

一般質問では、6議員が町政全般にわたり厳しく問いました。



増築される深溝小学校（点線は予定地）

避難所の耐震化を優先

1億932万円

予算の規模は一般会計、特別会計と企業会計合せて211億6、743万円で平成16年度当初予算に比べ、4・5%増加となりました。

一般会計は総額127億940万円で前年度に比べ1・8%増加となりました。

特別会計は下水道事業が総額9億6、705万円で前年比2・5%減少した他は全ての会計で増加となりました。

歳入

町税は個人町民税の税制改正、一部主要法人の業績好調を維持していることから、前年度比4・5%増の78億930万円が計上されました。

三位一体改革により影響

歳出

してくる国庫支出金及び県支出金は補正で対応することになりました。

町債は中央公園整備事業他2件の建設事業債と町民税等の減税補てん債で総額2億6、000万円と前年度比77・0%の減として、借入の抑制に努めました。

普通建設事業として、深溝跨線橋及び逆川橋の橋梁耐震補強工事、相見・野場地区土地区画整理事業補助、新消防庁舎用地及び中央公園用地の買戻し、深溝小学校舎増築工事、荻谷小学校耐震補強・大規模改造工事など1億932万円。弓道場建設工事など31億9、000万円となりました。

主な歳出費用

民生費

・保育園管理一般事業
8億577万円

土木費

・（仮称）相見駅周辺開発整備事業
2億3、024万円

教育費

・深溝小学校整備事業
2億691万円

総務費

・高度情報化推進事業
2、989万円

消防費

・消防庁舎建設事業
6億9、992万円
消防庁舎は7月1日開庁

衛生費

・結核予防事業
875万円
BCGワクチン接種時期を生後6カ月までに変更

農林水産業費

・農村振興総合整備事業
2億2、694万円

公債費

・町債利子償還事業
2億3、638万円

一般会計127億円の使い道

人口=34,800人として

目的別区分	17年度予算 単位:千円	構成比	一人あたりの金額 単位:円
民生費	2,653,960	20.9	76,263
土木費	2,024,889	15.9	58,186
教育費	1,935,941	15.2	55,630
総務費	1,273,943	10.0	36,608
消防費	1,247,587	9.8	35,850
衛生費	1,026,929	8.1	29,509
農林水産業費	938,958	7.4	26,982
議会費	166,678	1.3	4,790
商工費	141,339	1.1	4,061
労働費	50,910	0.4	1,463
災害復旧費	6,372	0.1	183
諸支出金	501	0	14
公債費	1,221,393	9.6	35,098
予備費	20,000	0.2	575
歳出合計	12,709,400	100	365,213

本育館・中央公民館改築設計

予算特別委員会

町税4.5%の増収
78億930万円

—— 新年度予算審議から ——

17年度予算案は、予算特別委員会に付託され、
2日間にわたり慎重審議の結果可決されました。

防犯灯25基の
増設は少ない

Q 地方税制の改正に伴う

町民税の増収は、

A 約4、700万円の上
積を予測した。

Q 三位一体改革の影響で

一般廃棄物最終処分場へ
の国庫補助金はどうなる
のか。

A 平成16年度の継続事業
として認可されたので、
補助金2億円が得られる。

Q 職員研修事業は管理職

以上か。

A 全職員を対象に行う。
接客対応は庁舎内研修と
して実施する。

Q R23の完成に伴い、企

業誘致は考えないのか。

A 地元からの要請もあり
企業庁と交渉していく。



企業誘致が待たれる西南部地域

Q 安全な町づくりの中で

防犯灯25基の増設は少な
くないか。

A 平成16年度で80基を設
置した。本年度は昨年度
の積み残し分を予定した。
必要に応じて増設する。

Q 公共施設の耐震整備は

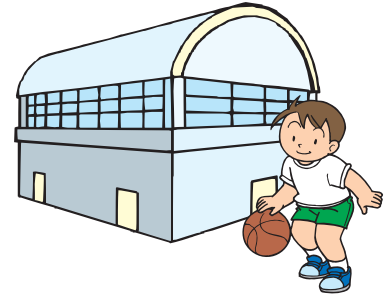
地元負担が出るのか。

A 耐震診断は62カ所につ
いて行い、順次整備して
いく。耐震補強費用とし
て1億932万円を予定
している。



予防接種の様子

幸田中学校



Q 職員の電話対応、服務規律が悪い。5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）ができていない。

A 接客研修を重要視した研修を行いたい。

Q 駅西駐車場の拡幅工事後の料金は。

A 料金設定はJR沿線の公共駐車場料金を参考にする。

Q 今年は新規就農者が1名から8名に増えたが、この人々への支援を農業振興費で行えないか。

A 農業後継者が減少する社会現象の中で増えたことは喜ばしいこと。国の制度に従って行いたい。

Q 今や農業は輸出産業だ、振興費として計上しているなら、それなりの政策を施すべきだ。

A 今後、各地の事例を勉強していきたい。

Q 町の安定財源は固定資産税である。相見、野場地区の整備事業を促進すべきである。

A 保留地処分を含めて、早く家の建つ環境づくりに努力していく。

Q 結核予防法の改正で、BCG接種方法が変わるが乳幼児への対応は。

A 4月1日より接種方法が変わります。従来は4才までに1回接種すれば良かったものが、生後6カ月までに1回接種することになった。保健センターで行う。

Q 最近の生徒の学力低下を教育長はどう認識しているか。

A ゆとりのある学習指導要綱に基づいて3年間行ってきた。絶対評価の中では遅れていない。

Q 海外研修報償費は継続事業からはずして、安全安心な学校づくりに切替える気はないのか。

A 中学生の海外派遣は、平成元年より行っている国際感覚を身につけるには有効なことであり、今後も続けたい。

17年度各会計の予算額

会 計 名			予 算 額	前年度比	採 決 の 状 況
一 般 会 計			127億 940万円	1.8%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
特 別 会 計	土 地 取 得 会 計		10億1,907万円	75.4%	全員賛成で可決
	国 民 健 康 保 険 会 計		21億8,283万円	2.4%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
	老 人 保 健 会 計		19億2,554万円	3.7%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
	介 護 保 険 会 計		10億3,693万円	14.0%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
	通所介護サービス会計		1,149万円	3.6%	全員賛成で可決
	農 業 集 落 排 水 事 業 会 計		3億9,042万円	6.1%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
	下 水 道 事 業 会 計		9億6,705万円	▲ 2.5%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
企 業 会 計	水道事業 会 計	収益的支出	6億3,456万円	2.0%	賛成多数で可決（反対2：賛成19）
		資本的支出	2億9,014万円	▲ 7.3%	
合 計			211億6,743万円	4.5%	

条例改正

3月議会では、手数料徴収条例を含む12議案を審議し可決しました。

ホームヘルパー派遣手数料を30分単位に

介護・支援事業の各制度には、既に30分単位が設定されており、利用者の利便を図るため30分単位に改正されました。

(全員賛成で可決)



中部第2負担区
の下水道事業受
益者負担金及び
分担金決まる

公共下水道中部処理分区域の周辺集落(市街化調整区域)において進められる事業費の一部を負担するものです。

Q 受益者負担とは、特別な受益が特定されるもの

■ ホームヘルパー派遣事業手数料等

種 類	単 位	金 額
ホームヘルパー派遣事業手数料	老人に係るもの	30分 205円
	その他のもの	30分 475円
ショートステイ事業手数料	老人に係るもの	1日 2,250円以内
	その他のもの	1日 1,540円以内

1. ホームヘルパー派遣事業手数料の単位を1時間から30分に改める。
2. 精神障害者短期入所事業手数料を身体障害者デイサービス事業手数料に改める。

■ 下水道事業負担金・分担金

負担区の名称	1平方メートルあたりの単位負担額	対象面積(参考)
深溝負担区	350円	約69ha
中部負担区	350円	約370ha
深溝第2負担区	400円	約64ha
中部第2負担区	400円	約95ha

中部第2負担区は、鷺田・岩堀・荻・芦谷・里区の市街化調整区域である。

議員提出議案

新たな地域名表示ナンバープレート「岡崎」の創設を求める意見書(要旨)

岡崎市・幸田町・額田町は、長い歴史の中で常に連携と協調により地域振興に努めてきており、道路・交通体系においても岡崎額田広域圏として一体的に取り

町道路線の認定及び廃止

道路整備等により、町道が認定及び廃止されました。

●新規に認定する道路

●廃止する道路

菱池前田13号線他4路線
長嶺1号線他8路線
(全員賛成で可決)

組んできている。
西三河の中心にあるこの岡崎額田地域に「岡崎」ナンバーを創設することは、全国への情報発信する絶好の機会となり、本町の地域振興・観光振興の発展が期待できる。
よって、本町議会は幸田町長に対し、新たな地域名表示ナンバープレート「岡崎」の創設を国に働きかけるよう要望する。
(全員賛成で可決)

平成16年度 最終補正予算

会計年度も終わりに近づき予算の追加や減額など一般会計ほか7特別会計合わせて8議案が上程されました。

一般会計の歳入は、町民税1億円、地方消費税5,000万円の増額のほか、国・県支出金の増減が行われました。

歳出では、派遣職員等負担金1,070万円、教育基金積立金1億5,000万円、財政調整基金積立金1,556万円等の増額。農業農村整備事業費3,075万円、街路事業費1,850万円、給食センター費1,000万円、公債費2,301万円等の減額など各事業の最終見込みによる調整が行われ、特別会計への繰入・繰出しが主なものとなりました。

特別会計では、老人保健会計の医療給付費1億4,121万円の増額、下水道会計事業費2,936万円の減額等が行われました。水道事業会計は、収益的支出・資本的支出とも減額補正となりました。

各会計とも予算の調整が主なものであり、いずれも原案どおり可決しました。

審議された他の議案

- 幸田町職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 愛知県市町村職員退職手当組合理約の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町個人情報保護条例の制定について
(反対2、賛成19で可決)
- 幸田町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について
(反対2、賛成19で可決)
- 幸田町情報公開条例の一部改正について
(反対2、賛成19で可決)
- 幸田町消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町文化財保護条例及び幸田町文化財保護委員会設置に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 財産の取得（庁用バス・16号車）について
(全員賛成で可決)

陳 情

- 「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
(反対19、賛成2で不採択)

16年度 3月補正の内容

会 計 名			補 正 額	補正後の額
一 般 会 計			2,278万円	125億3,121万円
特 別 会 計	土 地 取 得 会 計		▲ 174万円	5億7,911万円
	国 民 健 康 保 険 会 計		▲ 797万円	21億4,451万円
	老 人 保 健 会 計		1億4,121万円	20億3,401万円
	介 護 保 険 会 計		▲ 2,370万円	8億9,349万円
	農 業 集 落 排 水 事 業 会 計		▲ 866万円	3億5,928万円
	下 水 道 事 業 会 計		▲ 2,936万円	9億6,247万円
企 業 会 計	水道 事業 会計	収 益 的 支 出	▲ 302万円	6億1,903万円
		資 本 的 支 出	▲ 5,850万円	2億5,442万円
合 計			3,104万円	203億7,753万円



町づくりの 考えは？

ここが聞きたい

幸田町の財政運営は

企業誘致を努力



笹野康男 議員

問 本町の人口は約3万5000人であり、町民は「住みよい町、住みたくなる町」のイメージは一体どのように考えているだろうか。

17年度 総予算で211億6、700万円計上された。今後、本町大型事業は山積しており、たとえば、幸中体育館、中央公民館改築、学校の耐震、増築に12億円。学校給食センター10億円。幸田駅前開発30億円。相見地区補助金20億

円等々、莫大な資金が必要となる今後の財政運営が大変危惧され、財政運営の考え方を問う。

町長 生活環境を中心とした住む場所が快適で道路・

交通・鉄道の利便性を求め、防災・耐震・災害に強い町、保健・医療・教育環境を充実させ将来にわたって発展する施策を展開していく。

17年度予算は積極的に可能な限り計上した。

将来の財政運営を考え、



進出してきた企業の増設風景（六栗地区）

中・長期的な視点から、都市基盤の整備、区画整理等を行いながら課税基盤の強化、拡大を充実すると同時に新

たな企業誘致に努力していく。



伊藤宗次 議員

公金は住民からの預り金安全に 安全・有利・流動性の確保

問 4月からペイオフが全面解禁になる。

町と取引のある10金融機関がすべて破たんした場合、元本1億円とその利息のみが保護されるが、基金36億円の運用の考えは、

4金融機関から借金42億円と基金や普通預金は相殺できるがどう対応するか。

1月末現在の普通預金と定期性預金は57億円。

公金は、住民からの預り金である。運用の原則は安全・確実である。

無利息だが全額保護される決済性預金へのシフトは収入役の存在価値と職責が問われる。

収入役 1金融機関元本1000万円とその利子相当額まで保護される。

決済性口座預金はこれまで普通預金であったものを決済性預金とし、完全保護を確保する。

縁故資金借入残高が42億円となる予定である。これを相殺を考慮した有利子運用を原則的に考えている。

町の基準は安全、有利、流動性の確保、3原則を考

えている。

新しい運用基準は、相殺の範囲を超える部分は、町長と協議の上決定することになっており、最終責任は町長にも及ぶ。

生ゴミ堆肥化 地区取組みの 拡大を

問 ゴミ袋20円を45円に2・25倍も大幅値上げして、ゴミ処理経費を住民に押しつける“出口の有料化”は、「有料化で住民に痛い目をあわせればゴミは減る」感覚であり、一方で「お金さえ出せば…」の感覚を生み出すものだ。

生ゴミ堆肥化で里、逆川六栗の取組みの成果と教訓は何か。3地区住民交流の場づくりを。

未実施地区住民と実施地区住民との交流を町が支援し、堆肥化と減量化を住民と町が協同、協力し、意識の向上、施策の発展と拡大をすべきだ。

減量化に 取り組む

環境参事 3地区では自分たちの出す生ゴミを分別し、堆肥化事業に取り組み土壌改良剤として使い、岡崎市からも一定の評価を得ている。

農業、施設園芸を中心とした農業等ではこの堆肥が有効的ではない。

地域の取組みの中で、意見交換、問題点を整理し町民から理解をいただける有効な活用之道を探っていく。堆肥化は後の結果責任、対応であり可能な限り循環型社会でかえしていく。ゴミを出さない観点でPRし、減量化に取り組んでいく。



里地区の生ゴミ堆肥化施設

PFIのメリット・デメリット

単年度投資の軽減・準備期間が長い



丸山千代子 議員

問 民間にできることはできるだけ民間にとり、地方

あげて推進している。

行政の財政負担を増やさず、効率的に公共事業ができる手法として「PFI方式」が活用され、公共施設の建設、維持管理、運営などすすめられている。

しかし、PFI方式は一時的な財政負担はないが、長期間の負担が固定され、借金に変わりはないものである。

第5次総合計画に盛り込もうとしている「PFI事業の検討」について、メリット・デメリットを問う。

総務部長 メリットは単年度における初期投資を軽減

して他の行政サービスを低下させない。また民間のノウハウあるいは、技術の活用によるサービスの質的向上が図られる。

デメリットは、準備期間が非常に長い。また税の制

度、国の補助金の取扱い等、検討する課題も多い。

第5次総合計画で「健全な行政による確かな町づくり」、「簡素で効率的な行政体制整備」の中で検討していく。

毎日の高齢者
配食サービス
を

問 高齢者配食サービスは、週2回実施されているが、

年々、利用者が増加している。

食事は、寝たきりにならないための身体づくりと予防であり、食事サービスは

高齢化社会には不可欠である。

毎日の配食サービスは、高齢者が住み慣れた地域で生活するための重要な事業でもある。

「自立支援」として、毎日の配食サービスに組み込み、高齢者の健康づくりと支え合いの充実をすべきではないか。

食の自立に向けて
援助する

福祉部長 JAふれあいサー

クルのアンケートの結果、毎日配食サービスにより、外出の機会が減る、心身機能の低下による食に対する意欲の後退を考え、無感心からの調理自立、自分のできる機能を活用する必要性を考慮した自立支援をしていく。



ひとり暮らしの高齢者に給食サービス

また、その中でできない方は、ホームヘルパーの派遣、買物、調理援助を併用して支援をする。

町としては当面現状の週

2回で実施していく。

それ以上の配食希望者は食の自立支援の実施要項で利用調整し民間業者を紹介していく。



長谷奥弘 議員

西南部地域への企業誘致を 企業庁に要望を重ねる



手入れがされず荒廃が進む柿畑

問 第5次総合計画策定に向って取組み中であり、町の将来が活力にあふれ町全体のバランスの図られた住みやすく、住み続けたいくなるような町づくりを目指すことを町長の重要な政策方針に掲げ、優良企業誘致を

新たな交通体系、産業立地の中で図ることとしている。特に名豊道路を視野に入れた西南部地域への取組みに力を注いでいることに地元の期待は大である。情勢厳しい折りどのような推進されるかを問う。

総務部長 名豊道路インタ―チェンジ周辺の企業団地開発については地元の準備委員会も結成され地権者の同意も得ている。国道23号バイパス等の交通アクセスもよく、企業立地条件は非常によいと企業庁も評価している。

しかし塩漬けの土地が県下で250ha以上あるため消極的である。

保安林の解除、企業誘致の努力、民間開発も含めて土地活用ができるよう企業庁に要望を重ね努力する。

第5次総合計画にも位置づけをし推進を図る。

山間地域の農業問題取組み

問 国の構造改善事業で造成された段切りのみかん園や、筆柿園は今や後継者不足、耕作者の高齢化、あわせて価格の不安定や下落で

荒廃が進行し、雑木林や竹林に侵略され、樹園再生は不可能な状態にある。この状況は里地の農地におよびつつある。

山間地域の豊かな環境を守り、農業や農地の衰退がこれ以上進行されないことを願うとともにその防止策を問う。

建設的な支援策を模索する

建設部長 山間地域の耕作放棄率は、平地に比べて約2倍程度と大変に厳しい状況にある。

農業振興の立場から遊休農地の増加防止に向けて、道の駅の地域振興施設建設、観光的要素を取り入れた樹園地保全、農地の賃借のあつせん、農作物への機械導入、農作業の委託・受託など、地域の実情にあった方法、支援策を模索していく。農協とも一体となって産地調整を図りサポートしていく。



水野千代子 議員



太陽光発電システム設置の住宅

環境保全の取り組みを

環境への認識と配慮に努力する

問 国際的な地球温暖化防止に向け重要な一歩となる「京都議定書」が、今年2月16日発効されました。幸田町として町民・事業者・町が協力し、環境負荷を減

らし自然を守り良好な環境を保っていくことが大切である。
(1) 環境国際規格ISO14001の認証取得を。
(2) 町独自の環境管理規格

「環境認証」制度を策定し、地球温暖化防止対策を。
(3) 資源を効果的に活用していくという言葉「もつたない」を合言葉にして取り組みを。

資源の節約と有効活用を広報でPRしていく。

女性に対する暴力の防止対策を

女性相談員が対応

福祉部長

相談ごとなどは福祉介護課でまとめ、福祉サービスセンターで女性相談員が対応する。

(1) 西三河福祉事務所と対応、心理的なケア、一時的な保護について助言を行ない、被害者ケアにあたる。

(2) 町内で避難生活する場合、安全な生活ができるよう配慮し被害者を守る支援をする。

(3) 生活保護制度を活用し経済的な助成と就職、自立支援を行う。

環境参事

ISO認証取得について県内の20市町村が、町内では20以上の事業者が取得をして問題に取り組んでいる。

(1) 町は、管理職の研究会や担当職員の研修等も開催し、調査研究を進めている。

(2) 町独自の制度導入について条例を制定、計画を策定し町・町民・事業者それぞれの分担、役割を明確にしている。

(3) 住宅用、公共施設等の太陽光発電システム補助制度等環境配慮への取り組みを考える。

(2) 緊急一時保護施設の設置・運営を。

(3) 緊急生活資金の助成・被害女性の自立支援を。

鈴木三津男 議員



都市型ゴミ処理施設の導入を 近々の課題として取り組む

問 この4月1日から、ゴミ袋が大幅に値上げとなったが、ゴミ処理施設を有しない本町においては、このままでは今後も人口増加とゴミ処理費用はイタチごつこととなり、値上げを繰り返す行政となるおそれがある。ゴミ処理については抜本的な対策を今から計画的に考えていくべきである。

町当局のゴミ対策の実情を問うとともに、京都議定書に対処可能な都市型処理施設を提案し、その導入を推奨する。

環境参事 ゴミ処理技術を習得するために、平成12年9月から幸田町蓄ふん生ゴミ堆肥化研究会を立ち上げ施設の視察研修に担当者を派遣している。

提案いただく都市型ゴミ処理施設は、残渣もなく、ゴミをガス・電気等の資源に変えることから、非常に有望な施設だと思っているので、真剣に調査研究をしてその方向を探っていく。

町長 ゴミ処理については大きな関心を持っている。

極めて、喫緊の課題として取り組むよう指示する。

消防組織に 女性パワー を

問 本年7月1日から、新消防庁舎が開庁することを機に、男の職域であった本町の消防組織にも、女性パワーを導入してはどうか。

女性特有のやさしさ、きめ細やかさを活かし、消防署・消防団のイメージアップ、地域住民の消防・防災意識高揚など期待できる。そこで、次のことを提案する。

- (1) 配置替えまたは採用により女性消防士の育成を
- (2) 人材不足の消防団員を女性消防団員で補充を
- (3) 新規に主婦を主体に女性消防クラブ結成を

新年度から 女性職員を 1名配置

町長 消防署の女性職員は必要と思うので、新年度から1名は少なくとも配置する。

消防士、消防団員については、もう少し検討課題とする。

女性消防クラブについては、この1年をかけて具体化に努力する。

消防長 地域に密着した女性パワーを消防、防災に活かすことが、地域の防災力を総合的に高めるために必要と考える。

自主防災組織である各区防災会と協議・検討していく。



開庁が待たれる新消防庁舎

委員会レポート

総務

研修で職員の レベルアップを



新規採用職員の研修

- ・2月16日協議会開催
- Q 17年度職員研修計画について。
- A 一般研修部門を始め、6部門45講座、延べ人数403名の研修を計画している。
- Q 研修の目的と成果は。
- A 公務員のあるべき姿、プロ意識・サービスの向上、内容の充実等レベルアップを目的とする。幸田町公金の保管・運用に関する基準。

産業建設

地域水田農業 ビジョンの改定

- Q 4月1日からペイオフが解禁になる。公金の保管運用は。
- A U F J 銀行を始め10の金融機関に預け入れしている。破たんした場合借金と預金を相殺することができる。
- Q 安全確実の原則から管理運用は。
- A 普通預金は決済性預金に、長期資金運用は3年限度のローリング方式で、または3カ月・6カ月定期預金で運用。元本保証の債権・証券でも運用する。

- ・2月14日協議会開催
- Q 地域水田農業ビジョンの主な改定内容と、その目標とは。
- A 無人ヘリ導入による病害虫防除技術体系の充実・不耕起V溝直播技術の導入による省力化と作業の効率化などにより、水稻作付け面積を498haまで拡大すると同時に、その担い手への集積率(利用権設定率)32%を平成18年度までの目標とする。
- Q 国策として食料自給率の向上を示しているが本町についてはどうか。
- A 米について、町民一人当たり60kg年と考えると自給できる体制を整えたい。
- Q 米の品種「祭り晴」を、平成18年度から「あさひの夢」に変える理由とその特性は。
- A 「祭り晴」はいもち病になりやすく、その防除農薬がなくなることにより切替るもので、「あさひのかおり」と「月の光」と「愛知65号」を掛け合せた品種である。米質、食味ともに良く、普通期に栽培しやすい特性を持っている。



麦転作が進む水田

文教福祉

上六栗保育園の休園

・2月9日協議会開催

住民児童課より17年度の保育所入所申し込状況等、説明を受ける。

Q 3歳未満児が昨年より25名程度増えている。このままだと受け入れ困難になると思うが、どう考えるのか。

A 乳児は毎年増える傾向にある。保育士を増して対応していく。

Q 現在のところ園舎はなんとか足りているが、今後待機児がでるおそれがあると思うが、その対応は。

A 部屋はまだ空いている。今年度幼保一元化の取組みが全国の30カ所で行われる。たいへん注目している。

Q 本町は幼保一元化を進める考えか。



休園となった上六栗保育園

A 幼保一元化は基本的に導入していく方針で考えている。

Q 上六栗保育園は入園希望がないことで、休園は

A やむ得ないと思うが、廃園にならないようにしてほしい。

A 乳幼児専門の保育園と考えているが、今後十分

追跡 一般質問 その後どうなった

検討していく。

Q 豊坂保育園の駐車場を確保したといわれるが、これだけで対応できるか。

A 40台分の駐車スペースがあり、これで十分と考える。

平成11年6月定例会

伊藤宗次議員

Q 入院できる病院の実現めざし。

A 誘致の方向で検討。

■その後

幸田町医療施設等整備基金条例を平成12年3月31日に制定し、基金の積立てをし誘致に努力。

平成12年12月定例会

畔柳武治議員

Q 風力発電の考えは。

A 山頂の風力発電測定調査で検討。

■その後

平成15年に電気事業者に新エネルギー利用を義務づけたRPS法が施行され、本町においても遠望峰山腹の2カ所でもその可能性を探る調査が平成17年夏までの予定で行われており、結果が期待されている。



町内の開業医



〔市場区〕
伊吹アリナさん

「公共の場所で犬の引き綱を離さないこと、便を片付けるビニール袋はいつもポケットに入れておくこと」これはある協会が主催しているドッグ・トレーニングテストのチェックポイントです。

当たり前のことのようにですが、犬を飼っている人はぜひ考えてみて下さい。



特に外に出る機会の多い犬は、社会の一員として歓迎され、周囲の人に迷惑をかけない存在でなければなりません。

少しの気遣いが無いことで、飼い主さんが犬の社会進出を阻むことになってしまい、近所の公園にも犬を連れて入れなくなるかも!! 人と犬が生涯幸せに暮らせるように、飼い主として当たり前のルールを守り、周囲の人や社会全体に認められることが大切だということをお忘れ下さい。

わが町を思う

I LOVE TOWN



〔横落区〕
間瀬久美子さん

快適生活

私たち家族が幸田町に引越して来て、10年経ちます。当時の幸田町に対する印象は、「何もない所」でした。

しかし、この10年のうちに、病院、スーパー、施設も充実し、随分と生活環境も良くなり、とても嬉しく思っています。

また、幸田文化公園の桜は見事で、町民の自慢のひとつではないでしょうか。

とても気持ちが癒されます。癒されるといえば、朝の子どもたちの挨拶です。思わず顔がほころび、「いつてらっしゃい、気をつけてね。」と、我が子を送り出す時と同じ心境にかられます。

今後、良い面は伝統として残し、町民一人ひとりが協力し、助け合い、そして、快適な生活を送れるよう、ますます発展していってくれることを期待しています。

動物との暮らし



編集後記



03年8月1日発行の109号から本号まで8号を発行してきました。

議会だより発行の目的は、①行政の監視役としての議会活動。②議会や議員の提案活動(一般質問など)を町民の目線で編集をの方針で取組んで

きましたが、「まだ道なかば」の思いです。

同時に、広報委員のいましめとして、①町民にお願いした原稿の本文は一切手を加えない。②議員の原稿も、書き改めなどは本人が理解し本人が改める。編集の過程で「検閲」と受けとめられることはしない。

議会だよりを評価し判断を下すのは町民からです。読者は町民の物差しで編集し、本号の

担当で最後になりました。今までのご協力、ご愛読に感謝いたします。

議員 長	内田 等
委員 長	伊藤 宗次
副委員長	黒柳 広治
委員 員	山本 勉
委員 員	杉浦 務
委員 員	夏目 一成
委員 員	羽根 潤博
委員 員	鈴木 三津男



あなたも議会を傍聴してみませんか

6月定例議会の本会議は、下記のとおりに行予定です。

- 会期の日程
 - 6日(月) 開会、議案の説明
 - 9日(木) 一般質問
 - 10日(金) 一般質問
 - 14日(火) 議案の質疑
 - 24日(金) 討論・採決、閉会
- 場所 役場5階 議場
- 時間 午前9時から
- ◎詳しくは議会事務局へ ☎0564-63-5151